

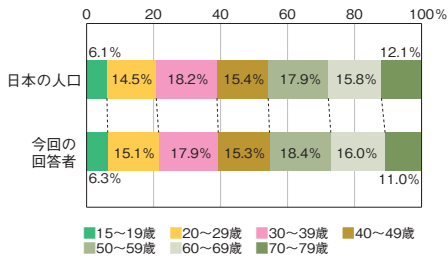
第4回 国民の歯科意識調査を実施しました。

今年も、国民の歯科に対する意識・受診動向の調査を実施しましたので、その結果を報告いたします。
 今回のテーマは「医科と歯科の連携」「訪問診療」等です。
 友の会会員の皆様のこれからの診療や医院経営のご参考にしていただければ幸いです。

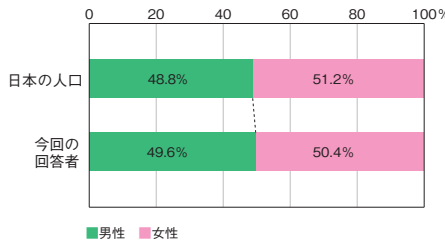
- 調査対象..... 47 都道府県、15 歳～79 歳の男女個人
- 調査方法..... 調査会社の調査員による個別訪問留置き調査
- 実施期間..... 2008 年 1 月～2 月
- 回収数..... 1,200 件
- 実施者..... 株式会社ジーシー 国民意識調査チーム
- 共同研究..... 東京医科歯科大学大学院医療経済学分野・川淵孝一教授、五十嵐公先生

■回答者の属性

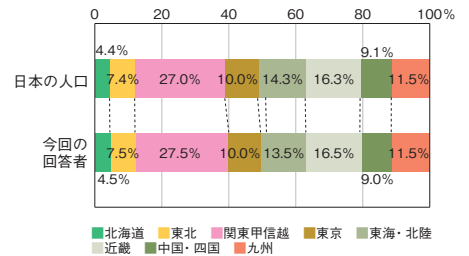
●年齢



●性別



●地域(全国を8地域に分類)



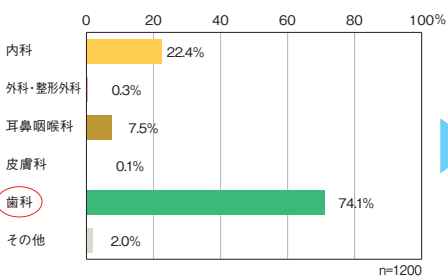
※日本の人口…総務省・平成19年10月1日現在推計人口(確定値)
 ※回答者の比率は、日本の人口とほぼ同じであり、国民の意見を反映した信頼性の高い調査だと考えられる。

I. 境界領域の受診について

Q1 次のような症状が出た時、どの診療科へ行きますか。経験がない方も、もし症状が出たときのことを考えてお答えください。
 (当てはまるものをすべて選択)

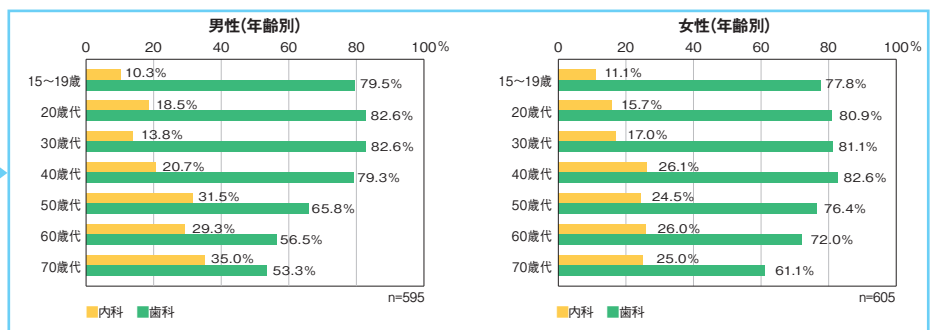
■口臭がある

トップは歯科で74.1%、2位は内科で22.4%



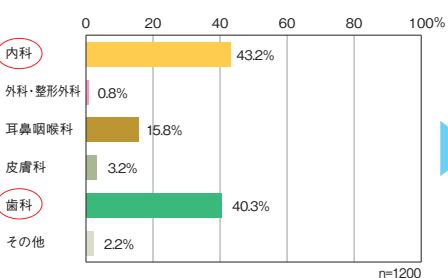
●内科と歯科の比較

どの年齢層でも歯科はトップだが、
 男性の高年齢層では内科へ行く人との差が小さくなっている



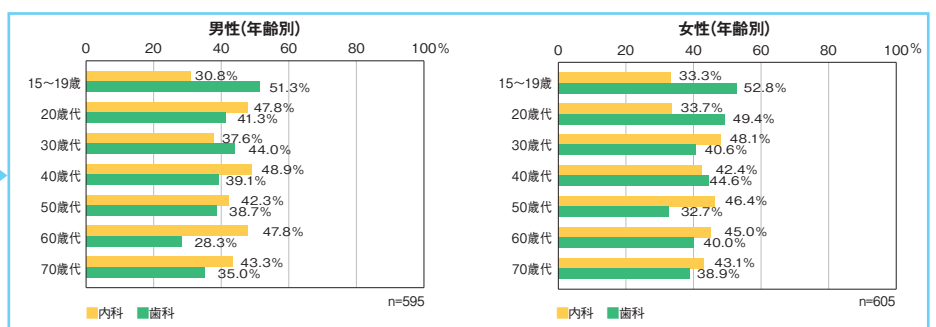
■口内炎ができた

トップは内科で43.2%、歯科は40.3%



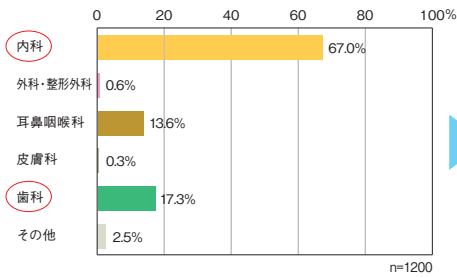
●内科と歯科の比較

全体では歯科は内科に次いで2位だが、
 男性の10歳代、女性の10、20歳代など歯科がトップを占める年齢層もある



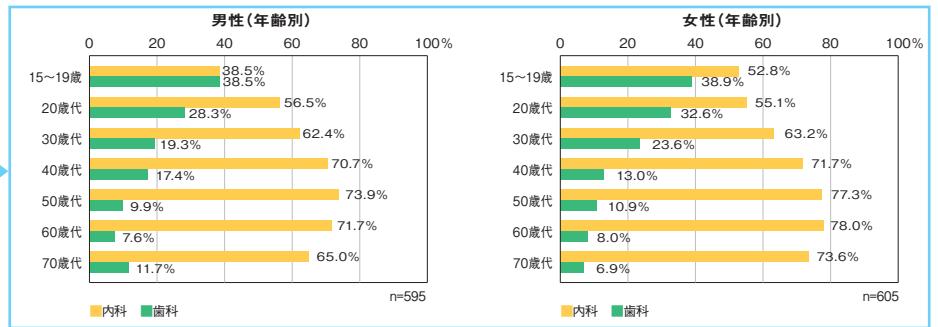
■口の中が乾く

トップは内科で67.0%、歯科は17.3%



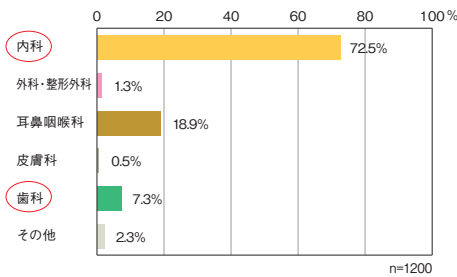
●内科と歯科の比較

全体では内科と歯科の差は大きいですが、若い年齢層では歯科へ行く人と内科へ行く人の差が小さくなっている



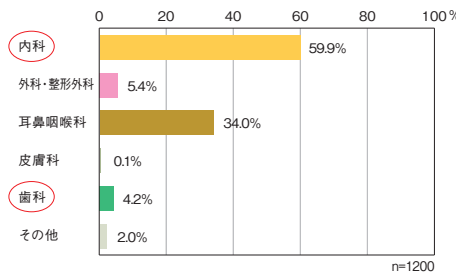
■食べ物の味が変わった、味がしなくなった

トップは内科で72.5%、歯科は7.3%



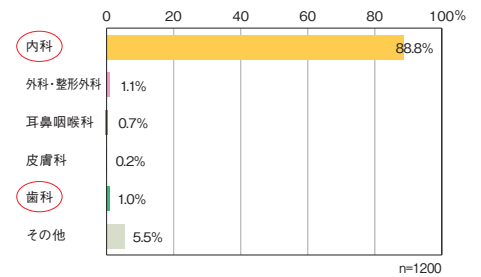
■食べ物、飲み物を飲み込みにくい

トップは内科で59.9%、歯科は4.2%



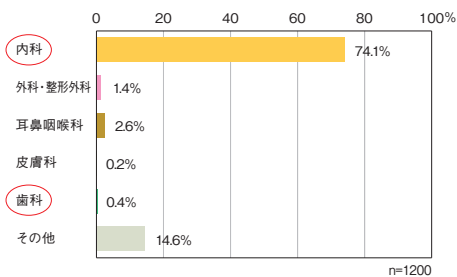
■食事について相談したい

トップは内科で88.8%、歯科は1.0%



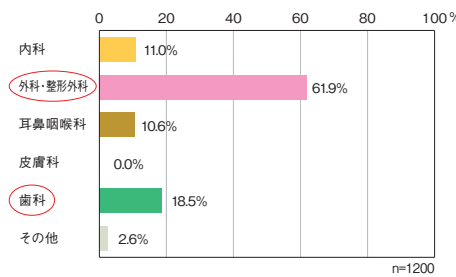
■たばこをやめたい

トップは内科で74.1%、歯科は0.4%



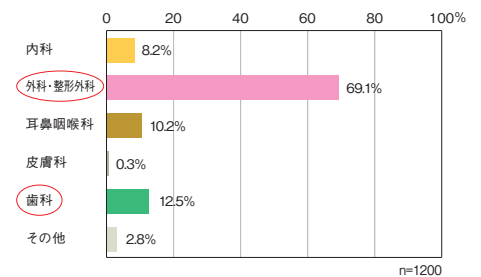
■あごが痛い、鳴る

トップは外科・整形外科で61.9%、歯科は18.5%



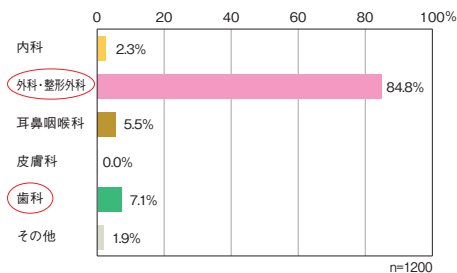
■口が開かない

トップは外科・整形外科で69.1%、歯科は12.5%



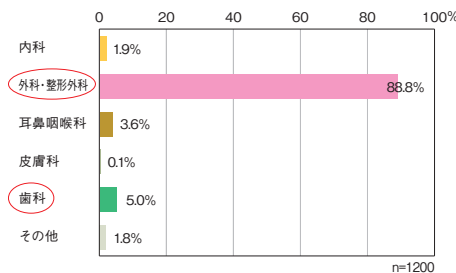
■あごがはずれた

トップは外科・整形外科で84.8%、歯科は7.1%



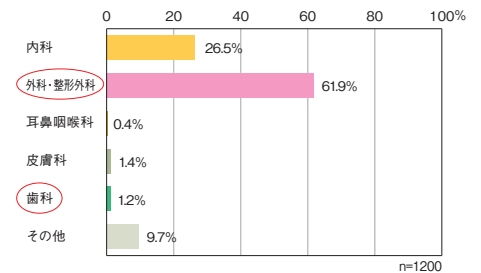
■あごの骨が折れた

トップは外科・整形外科で88.8%、歯科は5.0%



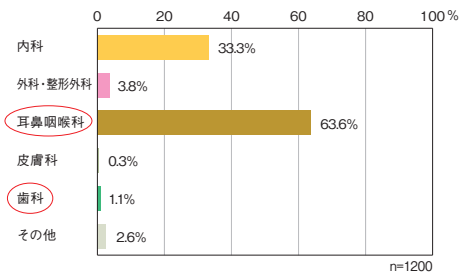
■肩こりがする

トップは外科・整形外科で61.9%、歯科は1.2%



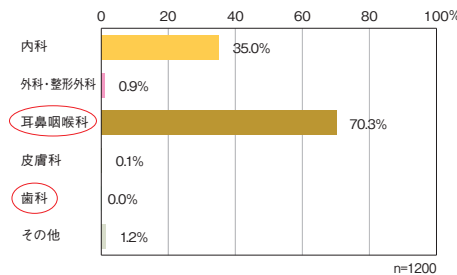
■ いびきがひどい

トップは耳鼻咽喉科で63.6%、歯科は1.1%



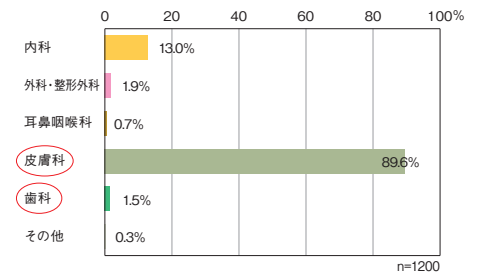
■ 鼻が出る、詰まる

トップは耳鼻咽喉科で70.3%、歯科は0%



■ 体にブツブツやタダレができた

トップは皮膚科で89.6%、歯科は1.5%

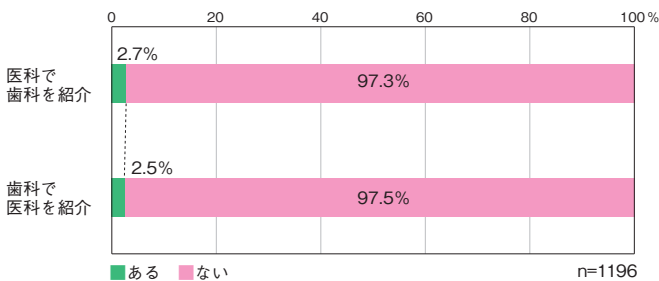


口腔に関わることも、症状によっては歯科を選択する人が少ない。
歯科と医科の連携、歯科で治療できる症例のアピールが必要と考えられる。

II. 医科と歯科の連携について

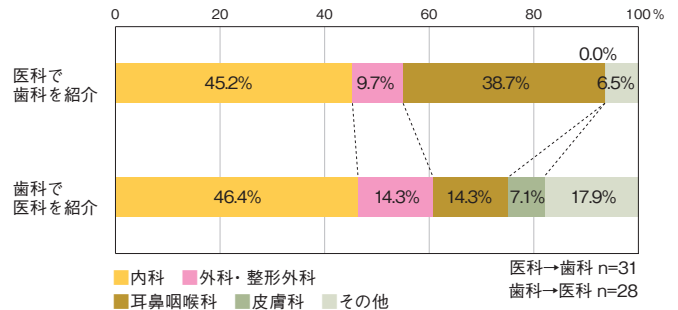
Q2 お医者さんへ行って、歯医者さんへ行くように勧められたことはありますか。
歯医者さんへ行って、お医者さんへ行くように勧められたことはありますか。

医科と歯科の連携は非常に少ない



Q3 (Q2で「ある」とお答えの方に)
お医者さんのどの科へ行った時に、歯医者さんへ行くように勧められましたか。
歯医者さんで、お医者さんのどの科へ行くように勧められましたか。
複数回ある時は、最近のことをお答えください。

双方ともトップは内科。
医科からの紹介においては、耳鼻咽喉科の比率も高い。
皮膚科から歯科への紹介は1件もなかった



Q4 勧められたのはどんな症状の時でしたか。
(ご回答の一部を紹介いたします)

医科で歯科を紹介

- 内科→歯科 頬が腫れ、おたふく風邪かと思ったら虫歯だった。(20代・女性)
- 内科→歯科 口臭(50代・男性)
- 内科→歯科 口内炎(70代・男性)
- 外科・整形外科→歯科 あごの痛み(40代・女性)
- 耳鼻咽喉科→歯科 あごが一回はずれてから音が鳴るようになった時。(10代・女性)
- 耳鼻咽喉科→歯科 歯ぐきにポコッとできものができた時。(20代・女性)
- 耳鼻咽喉科→歯科 耳の奥が痛み耳鼻科へ行ったら、歯の痛みかもしれないと言われた。(50代・女性)
- 眼科→歯科 左目がチクチク痛くなり、眼科で調べたが、どこも異常がなかった時。(50代・女性)

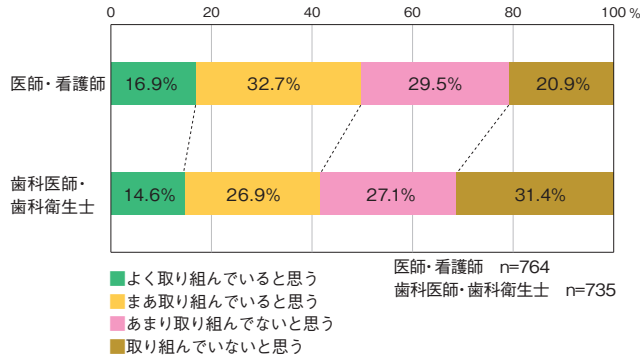
歯科で医科を紹介

- 歯科→内科 心臓がドキドキと早くなった。(40代・女性)
- 歯科→内科 口の中に膿ができて、点滴してもらわないといけなくなった。(60代・女性)
- 歯科→外科・整形外科 あごが痛くて。(20代・女性)
- 歯科→耳鼻咽喉科 風邪をひいている時に歯を抜いたら、患部に歯が入り蓄膿になった。(40代・女性)
- 歯科→皮膚科 歯科医院に通院治療中、唇が腫れた。(60代・男性)
- 歯科→口腔外科 あごの付け根が腫れて熱を持った。(30代・女性)
- 歯科→口腔外科 歯根膜の炎症が1年以上続いた時。(60代・女性)
- 歯科→脳神経外科 インプラント治療を行った後、頭痛がしたことを訴えたら、すぐ行くようにとの指示があった。(60代・女性)

III. 訪問診療、高齢者の口腔の健康について

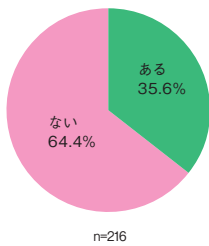
Q5 お医者さん・看護師さんは訪問診療に積極的に取り組んでいると思いますか。
歯医者さん・歯科衛生士さんは訪問診療に積極的に取り組んでいると思いますか。

医師・看護師が訪問診療に積極的に取り組んでいると評価している人は約50%いるが、
歯科医師・歯科衛生士の訪問診療も40%以上の人が積極的だと評価している



Q6 65歳以上の方にお聞きます。
お口のことで困っていることはありますか。

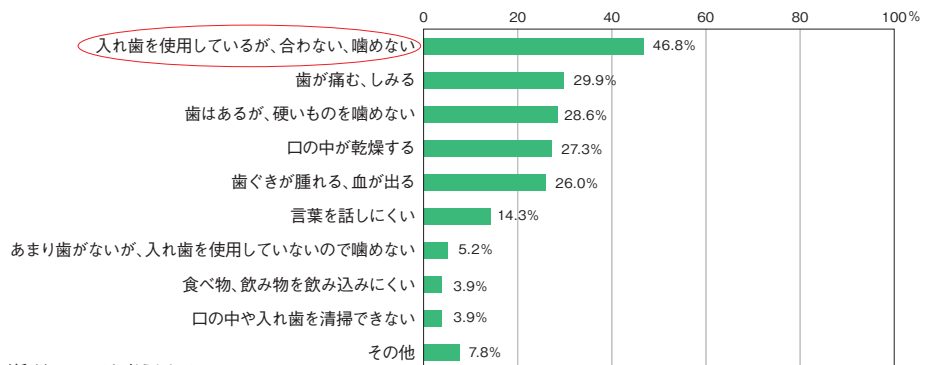
お口のことで困っている人は35.6%



※今回の調査は在宅の健康者を対象としたものなので、
実際の65歳以上の国民の意識と比べると困っている人の割合が低くなっていると考えられる。

Q7 (Q6で「ある」とお答えの方に)
困っていることは何ですか。(当てはまるものをすべて選択)

半数近くの人が入れ歯で困っている

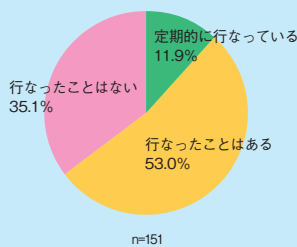


■「GC友の会Movie&Lecture講演会」の会場で、歯科医師・歯科衛生士の方にお聞きました。

- ・実施会場・・・札幌、仙台、東京、名古屋
- ・回答者数・・・151人(歯科医師:134人、歯科衛生士:17人)

Q8 訪問診療を行なったことはありますか。

訪問診療を定期的に行なっている人は約10%



Q9 (Q8で「定期的に行なっている」「行なったことはある」とお答えの方に)
どのような、診療・指導等を行ないましたか。(当てはまるものをすべて選択)

1位は義歯の製作・調整。
Q7と比べ、訪問診療の現場では、口腔内の清掃、義歯の清掃も多い

